

## 日本一人口が少ない県・鳥取県の隼小学校が 3/17 最後の卒業式をもって閉校 Pepper と生徒全員で手話を交えて「ふるさと」を合唱



地方創生プロジェクト「隼 Lab.」は、2017 年 3 月 17 日をもって閉校になる鳥取県八頭町にある隼小学校（鳥取県八頭郡八頭町見槻中 160 校長・田中靖）の最後の卒業式にて、ソフトバンクグループ株式会社の実施する Pepper 社会貢献プログラム『ソーシャルチャレンジ』を活用して Pepper を導入し、生徒たちの最後の思い出作りのサポートを致しました。

日本一人口が最も少ない県・鳥取県。そんな鳥取県の田舎町八頭町にある隼地域は、鳥取県東部に位置し、自然が豊かで気候が穏やかな為、二十世紀梨を始め、りんご、ぶどう、柿など美味しいフルーツが豊富な自然溢れる町。その風土豊かな町に生まれ育った小学生たちを 1874 年から 143 年間教育面で支え続けてきた隼小学校が、3 月 17 日をもって歴史に幕を閉じることとなりました。

今回最後の場として、生徒たちの最後の思い出づくりとして歌や踊りの機能を持つ人型ロボット Pepper を活用した有意義な学びの時間を提供。卒業式式典後には、卒業生・在校生全員が Pepper と共に手話を交えた「ふるさと」を歌唱し卒業を祝いました。

今回のプロジェクトについて卒業生は、Pepper と過ごした時間を「なかなかあることじゃないと思うので、短い間だったけど Pepper という遊べて楽しかったです。」と思い出を紹介、また、手話を交えた「ふるさと」合唱については、「卒業式の日 Peppor と一緒に歌えて良かったです。思い出になりました。」と感想を話しました。

そして、閉校を迎えるにあたり、校長先生は卒業生と新しい学校へ転向する生徒に向けて、「隼プールでの水泳練習など、ここで学んだことを活かして春からも楽しい学校生活を送ってほしいと思います。」と門出の言葉を述べ生徒を送り出しました。

隼小学校校舎は、閉校後、地域とイノベーター達による新しい実験を行う「隼 Lab.」プロジェクトの地方創生の戦略基地として活用予定となっております。

■リリース内画像格納 URL : <http://xfs.jp/Uu0ZQ>

### ■ 本件に関するお問い合わせ ■

「隼 Lab.」PR 事務局（株式会社スクランブル内） 担当：淀瀬

TEL : 03-6894-6895 FAX : 03-5413-3050 Mail : [info@scramble.jp](mailto:info@scramble.jp)

## 八頭町立隼小学校とは



1874 年（明治 7 年）に福井小学・見槻小学として開校。4 度の改称の後、2005 年八頭町立隼小学校へ改称。鳥取県の東部に位置する八頭町隼地域は、地域に祀られる隼神社が由来で名づけられました。国の登録有形文化財に指定された若桜鉄道線の「隼駅」があり、この駅は「聖地 隼」と呼ばれ、20 世紀最速の大型バイク「隼」に乗った隼ライダーに愛され、全国各地から「聖地 隼」をめがけて年間数千人のライダーの方々が訪れることでも有名。また、小学校横にあるプールは、山陰地方で最初にできた公認 50m プールとして歴史あるプールであり、今でも地域の宝として受け継がれています。

## 隼 Lab.とは



鳥取県東部の田舎町を縦断し、地域の交通を支える「若桜鉄道」にある隼駅。幹線道路からも離れ、様々な課題を抱えるこの中山間の無人駅から、今新たな試みが始まるうとしています。「隼 Lab.」とは、鳥取県八頭町において、若者の流出、少子高齢化などの影響で発生する空き校舎、公共施設、耕作放棄地、放棄森林の数々。財政、雇用、移動交通、医療、介護、子育て、教育などの積み重なる課題を、このまち特有の地域特性を活かしながら、新しい価値創造へと変革していけるような挑戦を行っていく地域活性化プロジェクトです。具体的には、平成 28 年度をもって廃校となる隼小学校をリノベーションし、地域内外の企業からの出資によるまちづくり事業会社によって運営。企業誘致活動や各種イノベーション施策を推進することで、首都圏企業のサテライトオフィス開設やイノベーター人材の誘致・育成を行い、八頭町の新たなブランドイメージの構築を行います。

### ■ 本件に関するお問い合わせ ■

「隼 Lab.」PR 事務局（株式会社スクランブル内） 担当：淀瀬

TEL : 03-6894-6895 FAX : 03-5413-3050 Mail : info@scramble.jp